

平成28年度 第8回 江別市自治基本条例検討委員会

会議録（要点筆記）

日 時：平成29年2月23日(木) 18時00分～20時25分

場 所：野幌公民館 研修室3・4号

出席者：石黒匡人委員長、深瀬禎一副委員長、伊藤雅康委員、田口智子委員、山元規子委員
工藤多希子委員、後藤一樹委員、小山千賀子委員（計8名）

事務局：高橋生活環境部長、湯藤生活環境部次長、堂前市民生活課参事、橋本主査、
高橋主事

傍聴者数：2名

資料

- ・資料：江別市自治基本条例検討委員会提言書（案）
- ・資料：江別市自治基本条例検討委員会提言書（資料）（案）
- ・資料：平成24年度江別市自治基本条例検討委員会提言書（検討方法抜粋）

会議概要

1 開会

2 議事

(1) 提言書（案）について

○事務局

江別市自治基本条例検討委員会提言書（案）（以下「提言書（案）」）の「1 はじめに」について、提言書（案）に沿って説明。

○石黒委員長

何か意見はあるか。

○伊藤委員

最後の段落2行目の「いただいた多くの貴重なご意見が」の部分だが、執筆の主体は検討委員会なので、一般市民のみなさまからの意見ということになると思ったが、そういうニュアンスの文章ではないのか。検討委員会の議論の中で出された意見も含めてということなのか。

○石黒委員長

1つ上の段落の文と違うのか。最後の段落も「いただいた多くの貴重なご意見」という表現になっているが、委員のみなさんの意見ということか。

○事務局

ここの「いただいた多くの貴重なご意見」というのは、アンケート調査をはじめとして、「市民のみなさまからの意見」という意味で記載させていただいている。

○石黒委員長

そうであれば、この表現で良いのかもしれない。

○田口委員

捉え方としては、「今後これを推進に役立てられることを期待するとともに、貴重な意見をもって、実現に向けた行政運営の一助となるよう期待します」というふうな、今後に向けた意見であると読んだのだが、読み方はどうなのか。

○石黒委員長

そのとおりで、今後に向けたものである。下から2行目の「いただいた多くの貴重なご意見が」は、その上の段落にあるアンケートとか多くの市民の方からいただいている意見も実現に向けた一助となるよう期待しているという意図の文章だと思う。たしかに、すっくと入っていく文章であるかは疑問である。

○伊藤委員

仮に、最後の段落の「いただいた多くの貴重なご意見」が、前の段落の「多くの市民の方からいただいたご意見」とイコールであれば、資料として検討委員会ではどういう市民の声を参考にしたかを提言書の中に直接載せることが必要になってくると思う。この委員会では、市民の方の意見を踏まえて議論をしてきた。しかし、検討委員会の中では市民のみなさんの意見はかなり咀嚼されている。そのため、「いただいた多くの貴重なご意見が、行政運営の一助となるよう期待する」というふうに私たちが考えるのであれば、ストレートに意見を付けたほうが良いと思うが、そういう体裁になっていない。先ほど解釈したように、この検討委員会の中で出された意見を行政運営の一助にしてほしいということを言いたい文章になっていると思う。

○石黒委員長

あとで事務局から説明があると思うが、郵送された資料の中に江別市自治基本条例検討委員会提言書（資料）（案）があると思う。この資料にアンケートの結果や意見も載っている。そのため、「いただいた多くの意見が」の最後の段落は、「資料として添付している」と文言を付け加えると良いと思う。我々委員の意見ではなくて、それ以外の市民の意見ということが伝わると思うが、いかがか。

○伊藤委員

この資料が、提言書とともに市長に渡されるのであれば、「いただいた多くの貴重なご意見」が市民のみなさんの意見になると思う。

○石黒委員長

修正することのほかに、提言書の体裁をどのようにしたらよいかも確認させていただいている。

○事務局

確認になるが、資料も併せて市長に手交する予定である。

○石黒委員長

「この提言書が役立てられると期待する」というのは、役立ててほしいという我々の意図である。必ずしもすべてを盛り込み切れたいはないと思うので、資料に載せているようにいろいろな市民から多くのご意見をいただいております、これも一助としていただきたいという趣旨である。誤解が生じる危険性もあるし、意図が伝わらない可能性があるので、「いただいた多くの貴重なご意見」のところに、アンケートを資料として付けているというこ

とが分かるように文言修正してはどうか。

○事務局

最後の段落であるが、基本的には、「この提言書」が主語であり、この提言書自体が市民自治の推進に役立てられることを期待することと並列の形で、市民のみなさまの貴重なご意見も併せて、というニュアンスであることをご理解いただければと思う。

○石黒委員長

そう読み取れない訳ではないが、検討委員会の中で各委員から出ていた、この提言書には入っていない意見も役立ててほしいという文章に読めてしまう危険がある。自分たちで出した意見を「貴重な意見」というのは恥ずかしいので、それは違うということをはっきり言いたい。

○小山委員

下から2行目の「いただいた多くの貴重なご意見が、」は不要ということか。前の段落のところで「江別市が実施したアンケート結果や多くの市民の方からいただいたご意見を踏まえ、現状と課題そしてそれらへの対応について協議を重ね、提言書としてまとめました。」とあり、多くの方からご意見をいただいたということはここに書かれている。さらにまた、「いただいた多くの貴重なご意見が」と言うと、どうしても一般市民の視点で考えると重複していると思っていた。伊藤委員や石黒委員長のご意見を聞くと、この部分はいらないということなのかと感じた。

○石黒委員長

1つ上の段落では、私たちは検討する際にアンケートや市民の方からいただいたご意見を踏まえて、提言書を作っているということを言っている。但し、すべてのご意見を盛り込んでいる訳ではなく、いただいたご意見の中にたくさんの貴重なご意見もあると思うので、市のほうで行政運営していくときに、それも併せて一助として、条例の基本理念や基本原則の実現に向けて取り組みを進めてほしいということである。いわば、アンケートに応じてくださった方やご意見くださった方々に、配慮するということである。

○後藤委員

この一文がなくても、意味は通じると思う。

○小山委員

そう思う。

○後藤委員

上の段落で、「多くの意見をいただいて提言書としてまとめました」となっており、提言書として帰結に向かっている。そのうえで、「この提言書が、」と書いているので、全てが含まれている状況かと思ったが、「いただく」という言葉が重複している。なくても意味が通じ、くどくならないと思う。

○小山委員

この文を抜いたら、「この提言書が、本市における市民自治の推進に役立てられることを期待するとともに、条例の基本理念や基本原則の実現に向けた行政運営の一助となるよう期待します。」となり、ストレートで良いと思う。

○工藤委員

石黒委員長がおっしゃったように、最後の段落は私たちの期待を込めての言葉なので、

入れても良いと思う。最後の「ご意見が」という言葉を変えるだけで、少し変わるのかなと思う。

○石黒委員長

上の段落と同じことを言っているように感じるので、もう少し表現を工夫したほうが良いのかもしれない。

○伊藤委員

第4段落では、「市民の意見を踏まえたいが、踏まえきれしていないかもしれないから、提言書とともに直接市民の意見を読んでもください」ということを言っている。しかし、それだと読まなくなるかもしれないので、資料の中ではなく、提言書の中にみなさんの意見を移して、提言書と市民の意見を並列的に扱うほうが、最後の段落にはふさわしい構成だと思う。他の委員のみなさんがおっしゃったように、「意見を踏まえて提言書を作り、その提言書が役立てられることを期待するとともに、行政運営の一助となるよう期待します」と、提言書を活用してくださいという意味であれば、「いただいた多くの貴重なご意見が、」をとるほうが良いと思う。どちらの構成にするかで変わると思う。

○石黒委員長

外すことにより、少し引っかかるのは、アンケートは我々の検討のためのアンケートになってしまうことである。委員会からの提言書だけではなくて、アンケートの中にある意見も踏まえて、市のほうで取り組みを進めてほしい。外して上の段落だけになると、我々はアンケートを踏まえて検討したから、この提言書に従って進めてください、アンケートはそれで終わりというようになってしまうかもしれない。だから、個人的には残したほうが良いと思う。ただ、そうすると、伊藤委員が指摘されたように、単なる資料として後ろに付けているだけで良いのかということもある。

○伊藤委員

この体裁だと、私たちが検討のための資料として使いましたという見せ方になるので、委員長の言われている考えとずれると思う。

○後藤委員

「市民のみなさまからいただいた多くの貴重なご意見」というように、1つ言葉を付け加えることで良いのであれば、アンケート結果と本編を一緒にしてはどうか。検討委員会で検討したのは提言するためなので、間違っていないと思うが、全体からアンケートをとってということから考えると、付け加えるか消すかで良いと思う。

○石黒委員長

いただいた多くの市民からの意見を指す文言を入れることでよいか。資料の扱いを今の案の形のままとし、提言書の文章をこのままで良いのかという点だが、資料を2つに分けてはどうか。例えば、我々の検討結果を検討委員会資料とし、もう1つアンケート結果資料というようにして、2つ分けてはどうか。

○深瀬副委員長

資料自体2つに分かれているのではないか。

○石黒委員長

実質そうである。

○事務局

資料編と本編の取り扱いというところで、便宜上、本編と資料という形になっているが、取り扱いや考え方は、本編が重くて、資料が軽いとかということではない。セットで考えていただければと思う。

○石黒委員長

いかがか。今のままで、「1 はじめに」の最後の段落について、文章は少し変えるが、「いただいた多くの貴重なご意見」を残すということで承認をいただけるか。そして、文章を変えて、この文言を今のまま残すとして、資料の扱いを変えるかどうか。変えるとしたらどういうふうに変えるかだが、本編と資料を分離するか、しないか。

○山元委員

資料の前のほうに付いているのが検討した内容であり、アンケートは市民のみなさまからいただいた内容で、私たちの意見は反映されていない訳なので、別々のものにしないと、伝わらないような気がする。

○石黒委員長

検討委員会資料は、第6回までをまとめたものと自治基本条例アンケート結果で構成されている。アンケート結果を本編に付けると、問題があるか。

○事務局

事務局としては、全く問題ない。

○石黒委員長

これでいかがか。

○伊藤委員

やはり、「提言書」と「いただいたご意見」をここで並列させているので、資料のアンケートを意見集約結果と切り離したうえで、提言書に付したほうが良いと思う。提言書と一体となった資料であれば、位置付けが高くなると思う。

○石黒委員長

一体となった資料というのは。

○伊藤委員

今、提言書と資料が分かれているので、アンケート部分を資料から提言書に移して、提言書とアンケートを同じ位置付けとして受け止められるようにする。場合によっては、4番として、アンケート結果を入れると良いと思う。

○石黒委員長

アンケートは私たちの提言ではない。提言書を出すために検討した資料として使ったものである。ただ、市に対して、私たちの提言書を尊重してもらいたいが、それとともにアンケートも活かしてほしいということなので、私たちから提言書の一部のように出すのは少し違うのかなと思う。しかも、アンケートを実施したのは市である。

○事務局

調整中のため本日資料として提供できなかった本編の「3 検討方法」について、説明させていただきたい。本日、4年前の提言書の「検討方法」の箇所を参考資料として配付したが、その資料の裏面に「条例に関するモニターの試行」としてアンケートの概略を載せている。今回も「検討方法」の項目の中で、(1) ①これまでの検討委員会の経過、②委員名簿を掲載させていただく。続いて、「自治基本条例アンケートの実施」というタイトル

で、「市民5,000人を対象に、8月から9月までを期間として実施した。アンケート結果については別紙資料のとおりです。」という文章にして、資料についても触れ、資料編につなげていくことを想定している。

○石黒委員長

配付された4年前の資料を基に、今回の内容のものを作る予定ということである。こういう形でアンケートの説明を載せて、さらに資料としてアンケートを付けることについていかがか。先ほどの伊藤委員の意見は、アンケートを提言書に付けるということだったが。

○伊藤委員

言いたかったことは、「はじめに」の最後の段落で提言書と市民の意見が並列関係になっているので、それを形式として表すにはどうしたら良いかということであった。先ほどそのように意見を言ったが、そこにはこだわりはなく、そういったアンケート結果の取り扱いなどを踏まえた形で提言書の資料を作るのであれば、私としては良いのだが。

○石黒委員長

これから検討内容を確認して、その後検討方法についても一度議論するので、その時に併せて確認したい。「1 はじめに」の部分でそれ以外に何か意見があれば、ご発言いただきたい。

○小山委員

3段落目では、「検討にあたっては、～提言書としてまとめました。」ということで、中の「江別市が実施したアンケート結果や多くの市民の方からいただいたご意見を踏まえ、現状と課題そしてそれらへの対応について協議を重ね、」というの、「委員会で協議を重ね」だと思う。それを、提言書としてまとめた。最後に起承転結の「結」の部分で、「この提言書が、本市における市民自治の推進に役立てられることを期待するとともに、いただいた多くの貴重なご意見が、」で、たしかに意見はいただいたと思う。ストレートに「この提言書が、本市における市民自治の推進に役立てられることを期待するとともに、条例の基本理念や基本原則の実現に向けた行政運営の一助となるよう期待します。」で良いのではないかと思う。前の段落のところでは、アンケートのことも市民からご意見をいただいたことも、この委員会で協議をしていることも書かれているので。少し丁寧すぎると思う。

○石黒委員長

今のご意見のように文章を変更し、その後ろに、「なお、アンケートでいただいたご意見も一助としていただくと幸いです。」といったような補足を付ければ、伊藤委員が問題にされていることもだいぶ減ってくるのではないか。

○伊藤委員

私は、委員長が、踏まえきれていない市民の意見を市長に読んでほしいということを表そうとされていたので、そうであればということで意見を述べた。そもそもの私の意見は、小山委員と同じように「いただいた多くの貴重なご意見が、」はいらないと思っていて、最後は「私たちが意見を踏まえて作った提言書」を打ち出し、これをしっかりと位置付けてほしいということ、こちらがお願いして締めくくることが良いと思っている。

○石黒委員長

では、「いただいた多くの貴重なご意見」はいらないということか。

○後藤委員

「提言書として、検討委員会ではこういうことをまとめました。」だけで良いと思うので、私もいないと思う。アンケートが、検討委員会のために集めたアンケートと捉えられてしまうという話になっていたが、全ての意見も併せて市で検討していただきとなると、一文付け加えないと、そのようには読み取れないと思う。

○石黒委員長

「いただいた多くの貴重なご意見が、」を取ってよいのではないかという意見について、他の委員はどうか。また、資料についてはどうか。取るとなると、資料として付けることもおかしいということになる。

○伊藤委員

「いただいた多くの貴重なご意見が、」を削除するのであれば、今の資料の形になる。

○石黒委員長

資料は分けることとして、市のほうでそれも併せて活かしていけば良いので、我々はそこまで口出しする必要はないのではないかと思う。それでよろしいか。

○深瀬副委員長

私は、アンケートの結果を全部提言の中に盛り込んだかということ、疑問である。アンケート結果を全部読んだが、いろいろな意見があるので、ここに文言を入れることが必要なのではないかと思う。

○後藤委員

その部分も会議の中で議論するべきだったのではないかと思う。全て納得するよう吸い上げなければならないというのであれば、議題に挙げて検討委員会でしっかり検討するという形をとらなければならないかと思う。ただ、この検討委員会の意義は、いろいろな意見がある中で、今変えなければならないところをピックアップして提言することなので、この委員会とアンケートを同列に置くということも、どうなのかと思う。

○石黒委員長

同列にするつもりはないので、最後の段落の「提言書を役立ててほしい」、さらに、「他にもある市民の意見を一助にしてもらえれば、ありがたい。」という段差をつけたのだが。ただ、我々の検討した結果がこの提言書であり、これを受けて取り組んでほしいということと、やはりアンケートから汲み上げきれていない部分があるので、そういうことを踏まえて活かしてほしいという思いから記載した。

○後藤委員

そうすると、市民のみなさまからいただいたということか。

○石黒委員長

それが前提だが、そう書くと、その扱いはどうなのかという問題もたしかにある。

○後藤委員

「いただいた」だけだと、この会議からいただいたのか、どこからいただいたのか不明確である。

○石黒委員長

この文言を残す場合は文章を変えなければいけない。

○田口委員

単純に外すと、文脈が変わってくる。だから、このままの文章で誤解を招くのであれば、

委員長がおっしゃっているように、少し文を変えたほうが良いが「多くの貴重なご意見を、今後の行政運営の一助にしてほしい」というような、ニュアンスは残したほうが良いと思う。先ほど話があったが、起承転結の「結」が将来に向けているので、この提言書や意見を使ってこういうふうに反映してほしいという意味で文言を入れると良いと思う。外すと文が中途半端になる。

○石黒委員長

この文について、2つの意見があると思う。残したほうが良いと思うが、資料の扱いをどうしたら良いかが見えない。資料からアンケートを切り離して、提言書の「4 アンケート結果」として、提言書を出すという意見もあったが。

○伊藤委員

先ほど説明のあったように、3の(2)で、アンケートの実施について入れるので、例えば、(3)でアンケート結果と入れるか、あるいは(2)の①で実施、②でアンケート結果とすると、提言書に結果を入れることができると思う。

○石黒委員長

アンケート結果という項目を置いて、その詳細は資料編を見てもらうということか。

○伊藤委員

そうである。

○石黒委員長

そういう形ならば、あまり変更しないで済むが、いかがか。「1 はじめに」の最後の段落の「いただいた多くのご意見が、」をとったほうが良いのではないかという意見もあったが、言葉を補って残す。そして、あとで確認することになるが、「3 検討方法」の(2)にアンケートという項目を入れて、今検討していただいたような文章を入れる。そして、資料は別冊ということによろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

では、「3 検討方法」でもう一度アンケートの記載について確認させていただくことにする。「1 はじめに」の部分の修正は全体の確認をした後、また出てくる可能性もあるので。

○伊藤委員

第3段落のところ、「学識経験者、有識者、公募市民」3区分になっているが、元々委員の区分はこの区分だったか。学識経験者と公募市民の2区分だったような気がするが。

○事務局

委員の選出区分は、学識経験者、地域市民団体、公募市民という3つの区分であった。地域市民団体という区分をしていたが、この提言書内では有識者という表現をとらせていただいている。

○伊藤委員

了解した。

○石黒委員長

3区分となっていて、表現を少し変えているということである。他に何かあるか。

○各委員

なし。

○石黒委員長

では、ここの文言については、あとで確認させていただきたいと思う。一部文言を修正して残す。「3 検討方法」のところでもう一度確認し、構成を考えることとして、提言書（案）の「1 はじめに」については、これで終了する。

○事務局

提言書（案）のうち「2 検討結果（1）」について、提言書（案）に沿って説明。

○石黒委員長

何か意見はあるか。一番上の行の「条例は、市民の手により長い年月をかけて議論を重ねた上で作り上げられ、」という部分について、もう少し表現を変えられないかと思ったのだが。かなり時間をかけて市民懇話会等で検討されてきたことはその通りだと思うが、「長い年月」というと、いつごろからやっていたのか、昔からやっていたのかと思われるような気がする。しかし、どういう表現に変えたら良いか、案が思いつかなかった。

○小山委員

少し変かもしれないが、「慎重に」はどうか。

○伊藤委員

具体的な期間を明記するのはどうか。

○石黒委員長

うまく年数が分かるといいのだが。

○伊藤委員

どこをスタート地点として捉えるかが問題かもしれないが。

○事務局

年数としては、平成17年に市民懇話会設置、平成21年に条例制定となるので、その間は約4年である。

○石黒委員長

みなさんにとって違和感がないのであれば、間違っている訳ではないので、そのままが良い。

○田口委員

研究者の論文では、「様々な」は漢字では書かない。そして、「重ねた上で」の「上」という字は、日本語表記上は上に上がる、「下」という字は下に下がる時しか使わない。そのため、ここではひらがなである。行政として使っていて、ひらがなに変えられないということであれば、そのまま全然問題ないが、もし変更できるのであれば、気になるので変更してほしい。また、国語の表記法上、「さまざまな」はひらがなである。

○石黒委員長

行政としては、この場合漢字でなければいけないのか。

○事務局

必ずしも、そういったこだわりはない。

○石黒委員長

では、この「重ねた上で」は「重ねたうえで」とひらがなに変えさせていただきたい。
他の部分も「様々な」はひらがなに変えてよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他にはないか。

○工藤委員

話は戻るが、「長い年月」について、4年を長い年月と考えるのかと気になっていた。

○田口委員

「17年に市民懇話会を設置し、21年に条例制定し、」と明確に書いたが良いのかもしれない。

○小山委員

年月日を明確にしたほうが、ストレートで良いのかもしれない。長い年月は装飾的すぎるかなと思う。

○石黒委員長

「平成17年に懇話会、平成21年に条例制定」で良いか。

○小山委員

具体的に記載したほうが良いと思う。

○石黒委員長

懇話会の立ち上げのところから条例制定までの年数を入れるということか。

○田口委員

「平成17年に市民懇話会を設置し、平成21年に条例制定し、今日に至るまで議論を重ねた。」はどうか。

○伊藤委員

条例の制定までの間で良いと思う。

○石黒委員長

「自治基本条例は、平成17年に市民懇話会が設置され、多くの市民の議論、検討をされたうえで作られた」というような文章に、年数等の内容を確認したうえで、修正させていただく。それから、漢字の表記も修正する。他に何かあるか。

○伊藤委員

最後の段落の文章の「現行の制度や取り組みに関する運用の改善などについて」の部分は、「現行の制度」と「取り組みに関する運用」両方の改善という意味なのか、「制度や取り組みに関する運用」の改善なのか。この文章では、どちらがメインなのか。

○石黒委員長

「現行の制度や取り組みに関する運用の改善など」という部分の趣旨は何か。

○事務局

現行の制度に関する運用の改善、現行の取り組みに関する運用の改善という意味で表現した。

○伊藤委員

そうすると、「取り組みに関する運用」という言葉がしっくりこない。制度に関する運用

の改善だけでも良いと思う。「取り組み」という言葉と「運用」という言葉の意味がかなり近いと思う。

○石黒委員長

「取り組み」を取るということで、よろしいか。「現行の制度に関する運用の改善」にするということである。

○工藤委員

「取り組み」と「運用」は違うと思う。

○石黒委員長

「現行の制度に関する運用や取り組みの改善」で良いか。

○伊藤委員

「現行の制度に関する運用や取り組みの改善」のほうが、意味は通じると思う。制度・運用は市が行うことで、取り組みは市民が行うこととして考えて、制度・運用と取り組みになると思う。ただ、市民の取り組みの改善を求めるのかどうか。

○石黒委員長

市民の責務の自覚や認知度を高めるという議論はあった。では、このように表現を変えて、もし変だということがあれば、また考えることとする。

○伊藤委員

制度・運用や取り組みに関する改善で良いと思う。

○石黒委員長

各委員よろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

では、「2 検討結果（1）」はこれで終了する。

○事務局

提言書（案）のうち「2 検討結果（2）」について、提言書（案）に沿って説明。

○石黒委員長

何か意見はあるか。

○伊藤委員

下線1つ目の「小学生への出前講座」という部分についてだが、「小学校への出前講座」にしたほうが良いと思う。

○石黒委員長

「小学校への出前講座」に変更してよろしいか。

○各委員

よろしい。

○田口委員

「様々な」が漢字になっている。ちなみに、（2）の下から3行目の「様々な」もひらがなにしたほうが良い。

○石黒委員長

最後の段落の1つ目の下線部の続きのところについて、「自治会や関係団体、大学、市民

活動団体のイベントなど」となっているが、自治会や関係団体、大学、市民活動団体それぞれのイベントというように、誤解なく文が続くか。「自治会や」の「や」をとってはどうか。

○田口委員

「〇〇や〇〇、〇〇、〇〇、」となるので、最初の「や」は必要である。

○石黒委員長

「のイベント」はすべてにつながっていくのか。例えば、自治会のイベント、関係団体のイベントのようにつながるのか。

○小山委員

このままで良いと思う。

○石黒委員長

委員のみなさんが違和感ないのであれば、そのままで問題ない。

○事務局

今の部分について、関係団体という表現をとっているが、後ろで「など」を付けており、関係団体は、自治会、大学、市民活動団体のその他という意味合いなので、この関係団体はあえて付記しなくてもよかったかもしれないと感じているが、いかがか。

○石黒委員長

あったほうが良いという方はいるか。なければ、「自治会や大学、市民活動団体のイベント」と変えてよろしいか。

○小山委員

市民活動団体と関係団体は似ているようだが。

○田口委員

関係団体は市民活動団体とは違うと思う。

○石黒委員長

残したほうがよいか。事務局として残すことが良くないということはないか。

○事務局

ない。

○石黒委員長

では、そのまま残すということによろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他に何かあるか。

○田口委員

関係団体とするから違和感があるのだと思う。市民との協働という中で企業があるが、ここで入れる必要はないのか、あえて入れていないのか。

○事務局

意図的に入れていないという訳ではない。もちろん企業との協働もあるが、いわゆる協働の主要な相手先としてこの3つを例示した。

○田口委員

関係団体とぼかさずに、企業という言葉をあえて入れたほうが良いのではないかと思う。いかがか。

○伊藤委員

この文章は、PRの場として団体等のイベントなどを捉えている。公共的な団体であれば、市のほうがPRの場として活用させてもらうことができるかもしれないが、企業のイベントや建物内でPRの場をつくってもらうことは、困難な場合も多く、踏み込みすぎる気がする。

○石黒委員長

あえて外したというのは、まずピックアップして名前を出して、そのうえで「様々な機会」は民間企業もイベントの中で協力してもらいたいという意味も入っていると思う。

○田口委員

青年会議所とか。

○石黒委員長

青年会議所は関係団体だという意識だと思う。

○田口委員

江別の場合は青年会議所と関係が深いので、入れたほうが良いと思った。

○石黒委員長

配慮しているということで、「様々な機会」にそれらも入っているが、挙がっているのは、とりわけ中心に関わっているところということである。他に何かあるか。

○各委員

なし。

○石黒委員長

では、「2 検討結果(2)」はこれで終了する。

○事務局

提言書(案)のうち「2 検討結果(3)」について、提言書(案)に沿って説明。

○石黒委員長

何か意見はあるか。

○伊藤委員

①の下から3行目の「選任された委員以外の市民意見を」は「選任された委員以外の市民の意見」のほうが良いと思う。

○石黒委員長

「選任された委員以外の市民の意見」としてよろしいか。

○各委員

よろしい。

○伊藤委員

一番上の下線部の続きで、「参加の仕方がわからない」との意見も多く」とあるが、今までも提言書では意見といったら市民アンケートで寄せられた意見と読み取ってもらえるような書き方となっていたかどうか気になった。「市民アンケートの意見」のように何か言葉を補ったほうが良いかもしれない。

○石黒委員長

2段落目の初めにも、「アンケートにおいて」とある。

○事務局

あえて、「アンケート」という表現をとらなかったのは、アンケートの中でもそういうご意見があったことと、この検討委員会の中でも、パブリックコメントなどは市民に定着していなく、文言が分からない人が多いのではないかというご意見があったことから、このような表現とした。

○石黒委員長

検討委員会の議論の中にもあったということである。逆に、次の段落では市民アンケートの話なので、アンケートと書いている。他に何か意見はあるか。3段落目の2行目のところで、「公募する際には、それまでの性別や人数の割合にとらわれることなく」と書かれているが、「それまでの性別」というと、「今までは男だったけど」というふうにも読み取れる。「性別や人数の割合などそれまでの基準にとらわれることなく」にしたほうが良いのかと思った。

○事務局

「それまでの構成にとらわれることなく」はいかがか。

○石黒委員長

たしかに、基準ではなく、これまでの性別や人数の割合のほうがいいかもしれない。人数の割合は公募委員とそれ以外の委員ということか。

○事務局

そうである。

○石黒委員長

「性別や人数の割合などそれまでの構成にとらわれることなく」に変えることでよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他に何かあるか。細かい話になるが、「②市民協働の推進について（第25条関係）」の1行目の「協働について、「分からない」との回答が、」の最後の「、」は取ったほうが良いと思うがいかがか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

では、「、」はとることにする。他に何か意見はあるか。

○伊藤委員

3ページの下から2段落目、出てくるのは2回目となる「PR」というアルファベットの表記について、「広報」のような日本語に置き換えられないか。

○石黒委員長

2ページの(2)にある「PR」もということだが、PRのままで良いのか。

○伊藤委員

公式文書としてあまり使わない言葉である。市役所では普通に使うのか。

○事務局

たしかに、市役所の通知文書等でこの表現はあまりとらない。的確ではないということであれば、修正していただきたい。

○石黒委員長

PRを広報というように全部変えてもよいか。

○田口委員

微妙である。2ページの下から3行目だと、「まちづくりの内容を周知していく」などの違う言葉に置き換えていく必要があるかもしれない。

○伊藤委員

PRのままで良いのではないか。

○石黒委員長

PRという言葉に違和感がある部分については、変えて良いと思う。今のところ、PRのままでよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他に何かあるか。一番下の「様々」はひらがなにする。前回確認していただいた骨子の内容を活かしているので、中身が変わっているところはないと思うが。よろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

では、「2 検討結果(3)」はこれで終了する。

○事務局

提言書(案)のうち「2 検討結果(4)」について、提言書(案)に沿って説明。

○石黒委員長

何か意見はあるか。

○伊藤委員

①の下線の最後の「、」はいらないと思う。

○石黒委員長

「、」をとることでよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

では、最初の段落の下線の最後の「、」はとる。他に何かあるか。

○伊藤委員

②の「全国で頻発する災害は、」のあとで、「江別市」と行政のことだけを言っていると感じた。「江別市も決して他人事ではなく、」というよりは、「市民にとって決して他人事ではなく、」のほうが良いと思う。

○石黒委員長

このように修正することについていかがか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

「江別市」を「市民にとっても」に変える。他に何かあるか。③の下から2行目「とどまることなく」ではなく、「とどめることなく」に変えたほうが良いかもしれない。いかがか。

○後藤委員

行政内部でとめているという趣旨か。「とどめる」にすると、意図的にとどめているように感じて、「とどまる」にすると、公開しようとはしているが、事情があって公表できていないというニュアンスになるのではないか。

○石黒委員長

「とどまる」のほうが良いということだが、そうすると、そのあとの表現とつながっていくか。

○伊藤委員

「市は、行政内部の」というように、主語を入れるとおさまりが良いと思う。

○事務局

原案を作成するにあたって、「市」という表現について、自治基本条例上は行政と議会を併せた定義となり、そのように整理している。「市民の声」は議会の概念は入らないので、あえて「市」という表現はとらなかつた。「市」ではなく、あえて「江別市」としているところは、議会という概念を除いた表現として使っている。このような表現の使い分けをしたとすれば、「市は」という言葉をここに入れるのは難しい。

○石黒委員長

「行政内部の情報共有にとどまることなく」と加えた理由は何か。

○事務局

より外部に情報提供することを強調する意味で記載した。ご指摘の部分を削っても、十分意味としては通じると思う。

○石黒委員長

私が気になっただけで、逆に「とどめる」にすると違うニュアンスになってしまうという意見のほうが多く、他のみなさんがそのままのほうが良いということであれば、そこはそのままにしてよい。

○後藤委員

続きが、「内容によっては」と書かれているので、「とどまる」でよいのではないか。

○石黒委員長

「とどめる」にすると意味が変わってしまい、この部分を取ったほうが良いという訳でもないで、そのままにする。他に何かないか。

○伊藤委員

④の最初の下線にある「市民にとって、」の「、」もないほうが良いと思う。

○石黒委員長

「、」を取ってよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

確認になるが、⑤の最初の段落で、「市民によるまちづくりに関する評価は、～様々な方法で行われています。」とあり、さまざまな方法の例示として、行政評価外部評価委員会、毎年行うまちづくり市民アンケート、附属機関等への市民委員の登用、パブリックコメントといった市民参加が挙げられている。パブリックコメントでまちづくりに関する評価を行うというのはどういうことか。

○事務局

意図としては、あるテーマについて、市民のみなさまからいただく意見そのものが、ある意味まちづくりについての評価という考え方から、この表現をとらせていただいている。

○石黒委員長

よろしいか。

○田口委員

漢字のことだが、「分かりやすい」、「分かります」、「分かる」というのが、漢字になっていて、2ページ下から4行目や8行目はひらがなになっているので、統一したほうが良いと思う。

○石黒委員長

ひらがなに統一するということか。

○田口委員

ひらがなだと読みにくいという感じを受けた。

○事務局

漢字のほうが良いということか。

○田口委員

ひらがなが続くので、漢字のほうが読みやすいのではないかと思った。

○石黒委員長

では、「分かりやすい」、「分かる」等は漢字で表記するということでよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他に何かあるか。

○伊藤委員

「手続き」に「き」がついているのは、このままで良いのか。自分が文章を書くときは「き」を送らない。4ページの下から3行目の「条例上の手続きが」とある。行政文書はこうなのだろうと思ったが、気になったので聞いた。

○事務局

行政文書では、一般的には文章の中で使うものについては「き」を入れ、表題やタイトルなどで使うときはつけないことが多い。

○石黒委員長

他に何かあるか。

○小山委員

戻ってしまうが、(4)の②について、「江別市」は「江別市民」に修正したのか。

○石黒委員長

「市民」ということになった。

○小山委員

「全国」という言葉を使っているのであれば、「江別市民も決して他人事ではなく」のほうが良いのかなと思った。

○石黒委員長

「市」というよりは、「市民」のほうがふさわしいということで、「江別」という言葉が入っていることがおかしいという趣旨ではなかった。「江別市民」でよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他に何かあるか。

○各委員

なし。

○石黒委員長

では、「2 検討結果(4)」はこれで終了する。

○事務局

提言書(案)のうち「2 検討結果(5)」について、提言書(案)に沿って説明。

○石黒委員長

何か意見はあるか。最初の2行で、「江別市では、～取り組みを進めてきました。」というのは、我々の立場からの提言書なので、「江別市では、～取り組みが進められてきました。」のほうが良いと思う。

○伊藤委員

変えたほうが良いと思う。

○石黒委員長

「江別市では、～取り組みが進められてきました。」に変更してよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他に何かあるか。もう1つ、3段落目の「市民の認知度や意識などを高めるには、」の表現を、「市民の認知度や意識などが高まるには、」に変更してはどうか。

○伊藤委員

第2段落では、「高めていくことが必要です」という表現をとって、そこと対応している。もし、ここを変えるのであれば、第2段落も変更しなければならないと思う。

○石黒委員長

第2段落を受けている文章なので、たしかに「高めるには」のほうが良いかもしれないが、周りが働きかけるのではなく、自発的に市民の意識が高まった状態となるには時間が

かかるとしたほうがよいと思ったのだが。

○事務局

ニュアンスとしては、「自然に」というよりも、行政はもちろんだが、さまざまな団体も「積極的に」高めていくという、能動的な表現として「高める」としたが、「高まる」のほうがふさわしければ変えても構わない。

○石黒委員長

他に何かあるか。

○伊藤委員

今の第3段落の2行目の「前述の条例解説書の改訂」のところだが、「前述」と書かれていたので、どこに出てくるかと振り返った。そうしたら2ページの下から2段落目のところで、「改善」という言葉が使われていたので、「改善」・「改訂」どちらでも良いが、言葉を統一したほうが良いと思う。「前述の」がなければ、そのままで良いとは思いますが。改訂という言葉には、定期的な見直しというニュアンスもある気がする。改善では、定期的という意味が薄くなる気もするが、ここでの趣旨は改善で合っているのかなと思うのと、柔らかい言葉かなと思う。

○石黒委員長

では、ここでも「改善」としてよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

5ページの3段落目の「改訂」を「改善」に変更する。他に何かあるか。最後の段落の「また、アンケートにおいて、」について、他の部分でもアンケートという言葉を使っていると思うが、いくつか種類があり、初めに問題になっていた今回の「自治基本条例のアンケート」、市民参加の手法としてのただの「アンケート」、4ページの「毎年行うまちづくり市民アンケート」とある。今回「アンケート」と書いて、我々は意味を分かって読んでいるが、初めて読む人にとってはどうだろうか。

○事務局

言葉の使い分けとしては、ただの「アンケート」は「自治基本条例アンケート」、3ページの2段落目の「アンケートにおいて、～回答数が多かった「アンケート調査」は選択肢としての「アンケート調査」、「まちづくり市民アンケート」は正式名を採用するといった使い分けをしている。

○石黒委員長

そうすると、2ページの(2)最初の行にある「自治基本条例アンケート」は、「アンケート」と表記しないのか。

○事務局

最初だけは、正式な名称にしている。「以下、「アンケート」という」と注を入れるのが正しいのかもしれないが、堅い文章になると考えたので入れなかった。

○石黒委員長

論文のようになってしまうかもしれないが、「以下、単にアンケートという。」と記載してはどうか。

○事務局

説明書きを加えたほうが良いということであれば、修正させていただく。

○石黒委員長

実際は、使い分けているということなので、そのほうが良いかもしれない。

○石黒委員長

単にアンケートといった場合はこれであるということ、ここで柔らかい言葉で表したほうが良いかもしれない。

○事務局

「以下、アンケートと表記」でよろしいか。

○石黒委員長

私はそれでも良いと思うが、他の方はどうか。

○各委員

よろしい。

○伊藤委員

今のやり取りで気になったのだが、提言書は市長に手交するものという前提で議論してきたが、一般にも公表するのか。

○事務局

一般にも公表させていただく。

○伊藤委員

では、表記は一般市民の方も良く使うもののほうが良いと思う。「附属機関等」という言葉が出てきたときに、私自身も附属機関が何か調べた。附属機関のところも説明があったほうが良いと思う。

○石黒委員長

最初に出てくるのは、3ページの2行目である。

○事務局

市民参加条例上、附属機関等と定義付けしているが、なかなか認識されていないのが現状である。アンケート調査の中で附属機関については、「学識経験者、関係団体、市民等が話し合いを通じて、合意形成を図っていくものです。審議会、委員会、協議会等があります。」という説明をしている。これを注釈で書くのか、後ろに括弧書きで書くのか、検討させていただきたい。

○石黒委員長

最初の文を入れる必要はあるだろうか。審議会等の例だけを入れた文章で良いと思う。補足を入れるということよろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

他に何かあるか。

○各委員

なし。

○石黒委員長

では、「2 検討結果（5）」はこれで終了する。

○事務局

江別市自治基本条例検討委員会 資料（案）（以下「資料（案）」）に沿って説明。

○石黒委員長

何か意見はあるか。

○各委員

なし。

○石黒委員長

では、「資料（案）」はこれで終了する。

○事務局

平成24年度江別市自治基本条例検討委員会提言書（検討方法抜粋）（以下「平成24年度提言書（検討方法抜粋）」）に沿って説明。

○石黒委員長

（1）に今回の委員会の開催状況や名簿を載せるということによろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

（2）は、先ほど「1 はじめに」との関わりで議論があった。4年前は（2）にアンケートについて載せていたが、先ほどの話では（2）アンケートの実施（3）アンケート結果とするか、（2）①実施②結果とするかという意見が出ていたが、いかがか。先ほど承認いただいた書き方でよろしいか。本編でアンケートの概要について記載し、その下に、詳しい結果は資料を参照するよう一文添えて、資料は分けて出すという意見だったが。

○伊藤委員

意見集約結果は、委員会内の議論のための資料で、メモみたいなものである。そのメモみたいなものと市長に読んでほしいと冒頭で訴えている市民アンケートが同列というのは、私としては釈然としない。

○石黒委員長

たしかに伊藤委員のご指摘のとおりかもしれない。

○事務局

意見集約結果と切り離してアンケート結果を本編に付けるということでも、全く問題ない。

○石黒委員長

今の議論の目的は、ただこの資料のアンケート結果部分を別にして本編につけるべきだということではない。

○伊藤委員

私の意見としては、本編のほうに入れて出したほうが良いと思ったが、あまり支持されなかったもので、こだわらない。

○石黒委員長

アンケートの概要については本編で記載し、詳しくは資料を参照するよう一文加えて、資料は分けて出すという方向でまとめることとしたい。他に何かあるか。

○深瀬副委員長

5 ページに「アンケート経過」と書かれているが「アンケート結果」ではないのか。

○事務局

4 年前はアンケートを4回行って、モニターアンケートという形式であった。最初に5, 000人対象とした、大きな質問内容でのアンケートを行い、その中にモニターアンケートにご協力いただけないかという趣旨の設問も入れた。それ以降、協力することに賛同した220人を対象に、深く掘り下げたアンケートを3回行った。今回は5, 000人を対象としたアンケートを1回実施し、その中で掘り下げた内容も一緒にお聞きした。前回は複数回行ったので、「経過」という表記だった。

○石黒委員長

今回は「結果」として載るのか。

○事務局

そのように考えている。

○石黒委員長

この資料はあくまで前回の例で、今回は「結果」として載る。他に何かないか。

○各委員

なし。

○石黒委員長

文章を変えることとなり、文言について委員から承認をいただいた部分は良いが、文言まで詰めることができなかった部分については、事務局と私で検討して変更し、みなさんに確認いただいて、確定するという流れで行いたいが、よろしいか。

○各委員

よろしい。

○石黒委員長

全体を通して、何かあるか。

○各委員

なし。

○石黒委員長

では、これで終了する。

3 その他

(1) 前回会議録について

(2) 手交式について

(3) 各委員からのあいさつ

4 閉会